

# e.Typist for imagio

## 簡易操作マニュアル

**基本操作編**

**【第2版】**

## e.Typist for imagio 簡易操作マニュアル 基本操作編



### 目次

	ページ
1 . はじめに.....	3
2 . e.Typistの起動.....	4
3 . 原稿の読み込み.....	6
4 . 画像の修正.....	8
5 . 認識条件の設定.....	9
6 . 認識枠の作成.....	10
6 - 1 . 自動で作成.....	10
6 - 2 . 手動で作成.....	10
6 - 3 . 認識枠の表示.....	11
6 - 4 . 認識枠の設定変更.....	11
7 . 認識.....	13
8 . 認識結果の修正.....	14
8 - 1 . 全文解析.....	14
8 - 2 . 候補文字で修正.....	14
9 . ワンタッチ転送.....	15

# 1 . はじめに

e.Typist for imagio は下記の方法でご利用頂けます。

## 1. 自動モード

全自動モードです。「imagio カンタン文字認識 タイプ A」から画像をスキャンするだけで、認識結果ファイルが作成されます。

imagio からのスキャン方法、自動モードの設定方法については、リコー様にお問い合わせください。

## 2. 編集モード

e.Typist の画面を表示し、認識を実行します。認識結果は、Word 等の対応アプリケーションに転送することができます。

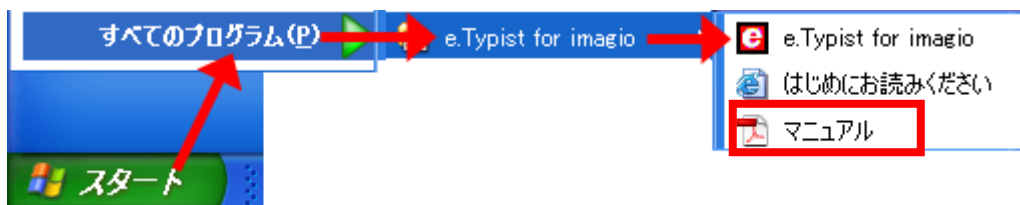
本マニュアルでは、編集モードでの基本的な操作方法のみを説明しています。

さらに詳しい操作方法をご覧になりたい場合は、オンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアルは、Windows の「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」

「e.Typist for imagio」 「マニュアル」から開くことができます。

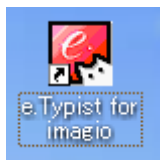
( 下図は Windows XP での操作画面になります。)



## 2 . e.Typist の起動

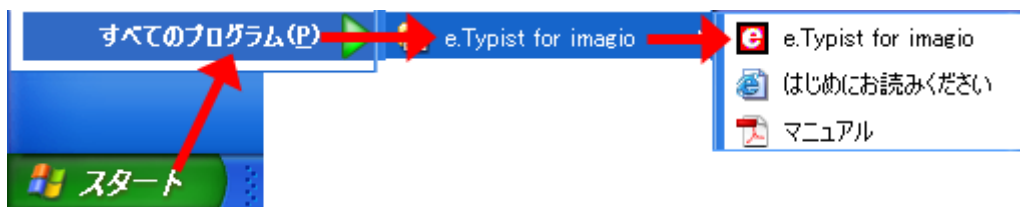
e.Typist for imagio は下記手順で起動してください。

デスクトップのアイコンをダブルクリックすると、e.Typist for imagio が起動します。

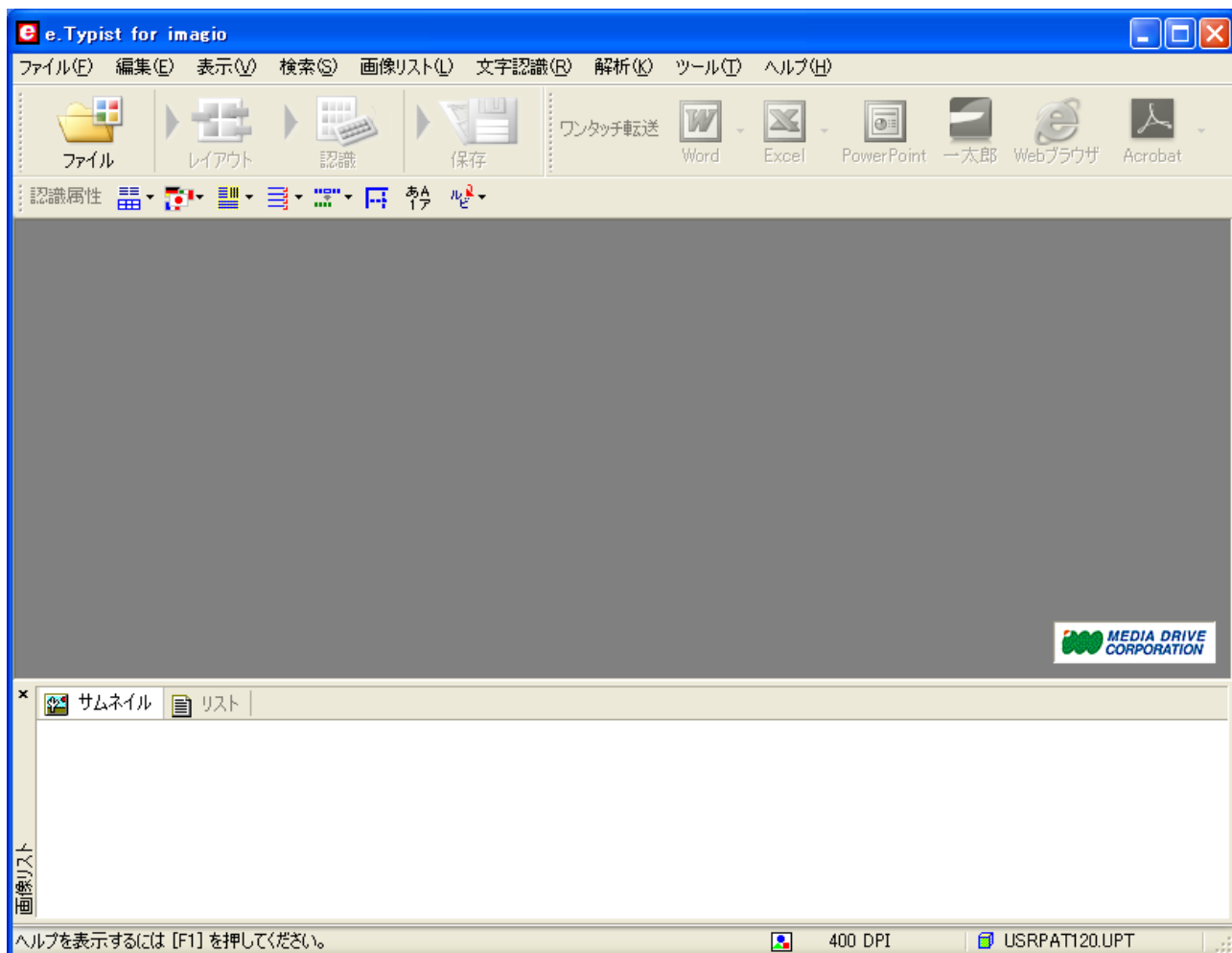


または「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」 「e.Typist for imagio」 「e.Typist for imagio」を選択します。

( 下図は Windows XP の操作画面になります。)

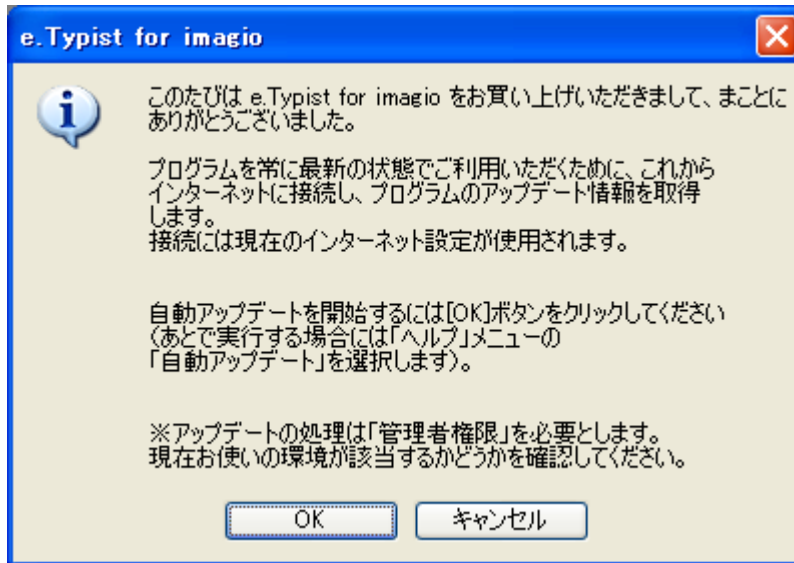


e.Typist for imagio が起動すると、メインウィンドウが表示されます。






インストール後の初回起動時には、プログラムを最新の環境に更新するためのアップデートメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしますと、インターネットに接続し、自動アップデートを開始します。




なお、「ヘルプ」メニュー 「自動アップデート」からもアップデートの実行が可能です。

### 3 . 原稿の読み込み

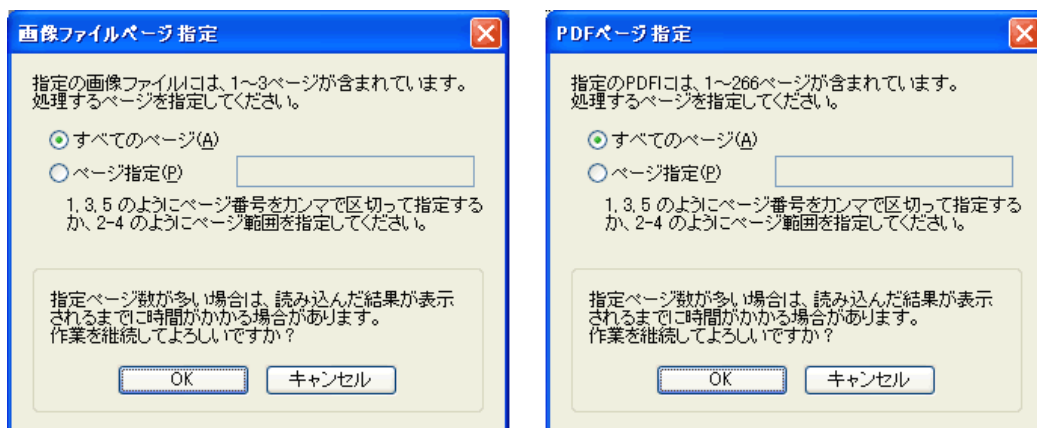
メニューバーの「ファイル」メニューから「画像ファイルを開く」を選択し、ファイルを指定します。

 e.Typist for imagio で開くことのできる画像のファイル形式は下記の通りです。  
BMP・TIFF (非圧縮/G3/G4/LZW/FX 各圧縮形式のシングル・マルチページ)・  
JPEG・PNG・PDF

 認識結果が何らかの原因で作成されなかった場合には、出力先フォルダ内に、「カスタム指示ファイル」(\*.mdcri) が作成されています。こちらのファイルを読み込んで認識することも可能です。

マルチページ TIFF や複数ページの PDF ファイルを読み込んだ場合、読み込むページを指定するダイアログが表示されます。


全ページを読み込む場合は「すべてのページ」を選択します。ページ番号を指定する場合は「ページ指定」を選択し、ページ範囲を入力して「OK」ボタンをクリックします。



#### 画像ウィンドウで画像の状態を確認する


読み込んだ画像の状態によって認識の精度が違ってきます。

画像ウィンドウで画像の状態を確認してください。

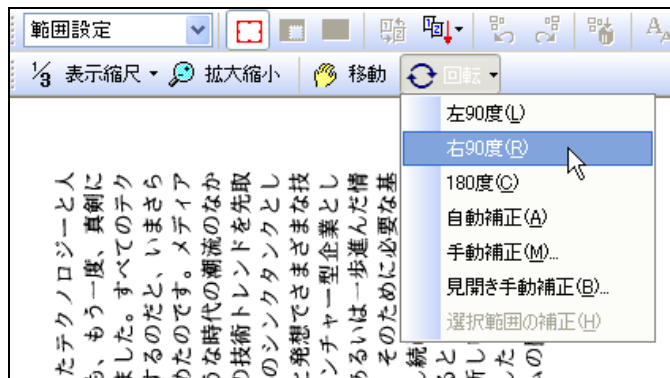
 原稿の向きは正しいですか？

原稿の向きが正しくないと、認識の結果も正しく表示されません。

横向きの原稿を読み込んだときには、画像の回転が必要です。

 回転 - 「回転」ボタンを使って正しい向きにしてください。

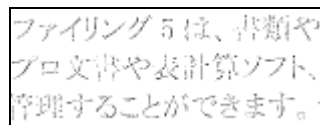
下図のような場合には「右 90 度」を選択すると正しい向きになります。



原稿の状態は良好ですか？

読み込んだ文字がはっきりと読める状態でないと、正しく認識できません。  
下図のような場合には、濃度を調整しながら再度スキャンしてください。

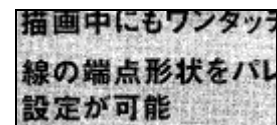
濃度が薄い



濃度が濃い

82	-102.5	237.3
86	-98.3	238
97	-87.5	263.2
107	-77.5	263.1

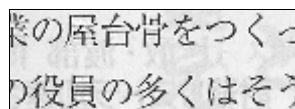
下地の色が濃い



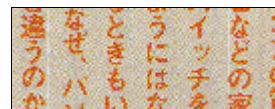
カラーやグレースケールでスキャンする場合

裏書き、下地・文字の色が文字認識に影響を与える場合があります。  
また、モノクロと比べファイルサイズが大きくなり表示にも時間がかかります。

裏書き



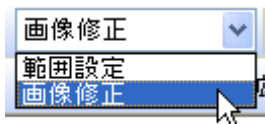
下地と文字の色が近い



## 4 . 画像の修正

取り込んだ画像にゴミのようなものが入っている場合や、白抜き文字を認識させたい場合は画像修正を行います。

画像ウインドウ上の「範囲設定」をクリックし、「画像修正」を選択します。

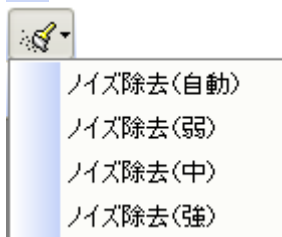


画像ウインドウのツールバーのボタンが下のようになります。




### 画像のゴミを消す

「ノイズ除去」ボタンをクリックすると、下記のように項目が表示されます。



ノイズを除去するレベルを選択してください。

ノイズ除去でもきれいにならない場合は、「消しゴム」ボタンを使ってゴミを消してください。


ノイズ除去機能はモノクロの画像に対して使用できます。カラー、グレースケールの画像は消しゴムボタンで削除してください。

原稿の状態によっては文字まで除去されてしまう場合がありますのでご注意ください。

### 白黒を反転する

下図のような白抜き文字の状態では認識ができません。

**活用の幅が** この部分を  「範囲選択」ボタンで囲みます。

**活用の幅が** この状態で  「反転表示」ボタンをクリックします。

**活用の幅が** このようになりました。これで認識が可能になります。

モノクロの画像に対して使用できます。

画像の修正が終わったら「画像修正」を「範囲設定」に戻してください。



## 5 . 認識条件の設定

認識枠を作る前に認識条件を設定すると、同じ条件で認識枠を作成できます。

インストール時は「認識種別指定」や「段組指定」の項目が自動判定に設定されています。


認識枠を作った後にそれぞれの枠に対して条件を設定し直すこともできます。

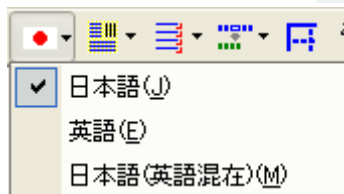
画面左上の認識属性ツールバーで認識条件の設定を行います。







### 英語を設定する

e.Typist for imagio では、日本語、英語の認識が可能です。原稿にあわせて言語を設定してください。

「認識言語指定」ボタン  をクリックすると、下図のように表示されます。




「英語」を選択すると  (日の丸)のボタンが  (星条旗)に変わり、英語モードで認識が実行されます。

 日本語内に英語の単語が含まれる文章を認識する場合、 「日本語(英語混在)」を選択してください。

「英語混在」の例

パラダイム(Paradigm)の組み替えが行われ  
の関わるテクノロジー(Technology)の分野を

 日本語と英語の混在であっても、レイアウト枠を言語ごとに作成可能な場合は、日本語、英語でそれぞれ設定してください。

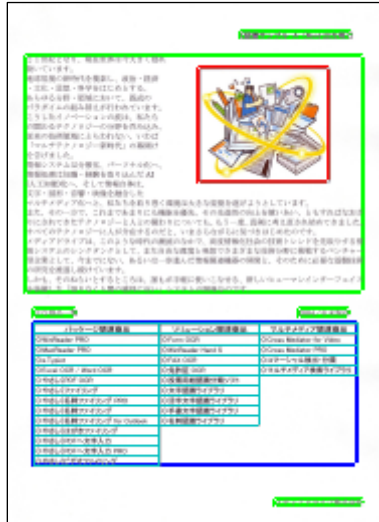
## 6 . 認識枠の作成

### 6 - 1 . 自動で作成

「レイアウト」ボタンをクリックして認識枠を自動で作成します。



下図のように原稿全体に対して認識枠が自動作成されます。



認識枠の色は、それぞれ次のような意味があります。

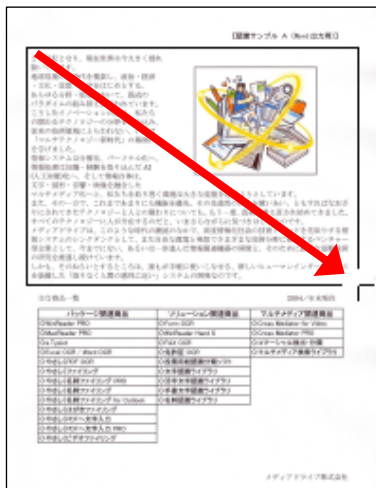
緑の枠 - 文章領域

青の枠 - 表領域

赤の枠 - 図領域

### 6 - 2 . 手動で作成


認識する範囲を手動で設定します。



認識したい部分を、マウスの左ボタンを押したまま囲みます。




囲まれた内部がレイアウト解析され、自動的に認識枠が作成されます。




### 6 - 3 . 認識枠の表示

画像ウィンドウの範囲設定ツールバーにある「認識領域番号表示」ボタンをクリックしますと認識枠の左上に下図のような記号が表示されます。この表示によって、それぞれの枠がどのように設定されているのか確認することができます。



数字は認識する順番を表します。

は文章領域として認識されることを表します ( は表領域、 は図領域 )

は日本語で認識されることを表します ( は英語、 は日本語(英語混在) )

は横多段組で認識されることを表します ( は横一段、 は縦一段、 は縦多段 )

この表示を見て、間違っていて設定されている認識枠があれば設定の変更を行ってください。

「認識領域番号表示」ボタンを再度クリックして表示する / しないの切り替えができます。


### 6 - 4 . 認識枠の設定変更

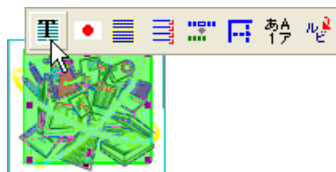
作成された認識枠の設定を確認しましょう。

下図の場合、 ~ の変更が必要です。



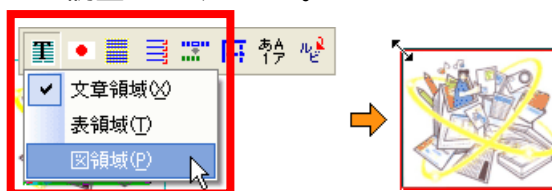
画像が「文章領域」に判断されています。

認識枠上でカーソルを静止させますと、認識属性ツールバーが表示されます。「領域種別指定」ボタンをクリックしてください (認識属性ツールバーが表示されない場合は、認識枠をクリックしてメインウィンドウの認識属性ツールバーで操作してください)。




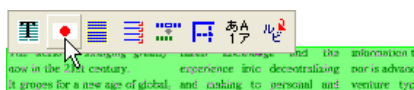
表示されたメニュー上で「図領域」を選択しますと枠が赤線に変わります。

認識枠 (赤線の枠) のサイズが合わない場合は、認識枠の四隅をマウス左ボタンを押したまま移動して大きさを調整してください。

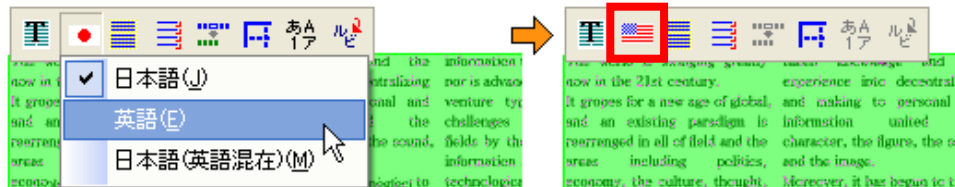



文章が日本語の1段組の文章として判断されています。

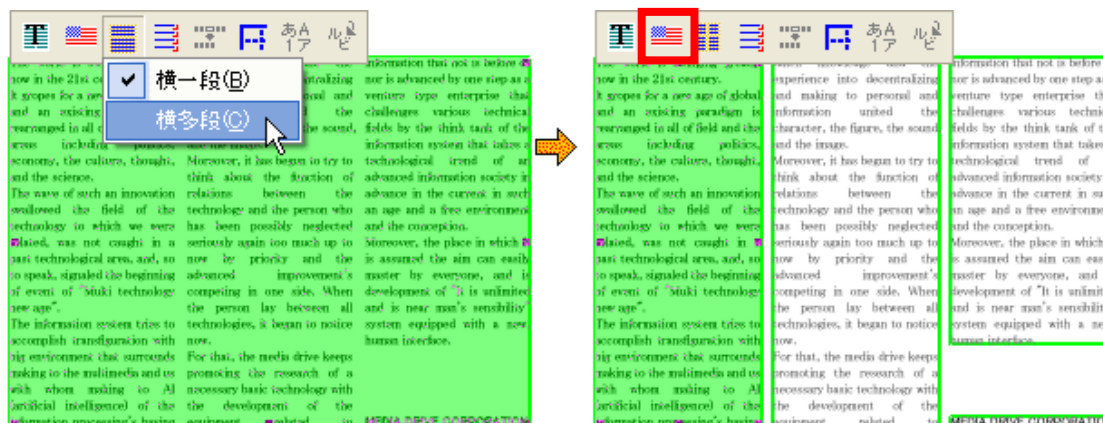
認識枠上にカーソルを静止させますと、認識属性ツールバーが表示されます。  「認識言語指定」ボタンをクリックしてください（認識属性ツールバーが表示されない場合は、認識枠をクリックしてメインウィンドウの認識属性ツールバーで操作してください）。




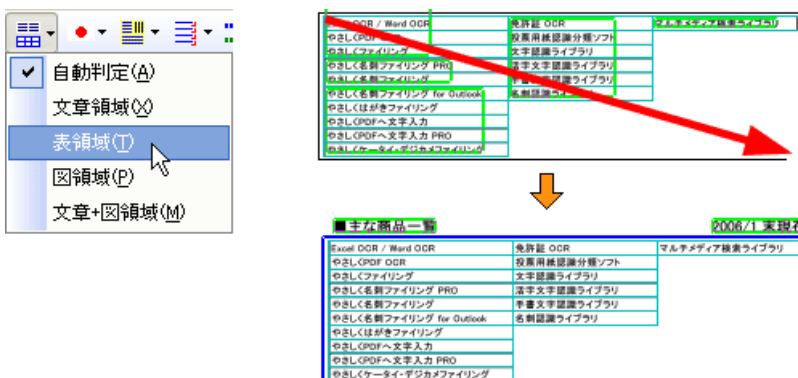
表示されたメニュー上で「英語」を選択しますと条件が変更されます。




さらに、 「段組指定」ボタンをクリックし、「横多段」を選択します。認識枠が段ごとに自動で分割されます。



文章領域として判断された表組は、認識属性ツールバーの  「領域種別指定」ボタンで「表領域」を選択し、表の部分を選択すると表の認識枠に変更されます。



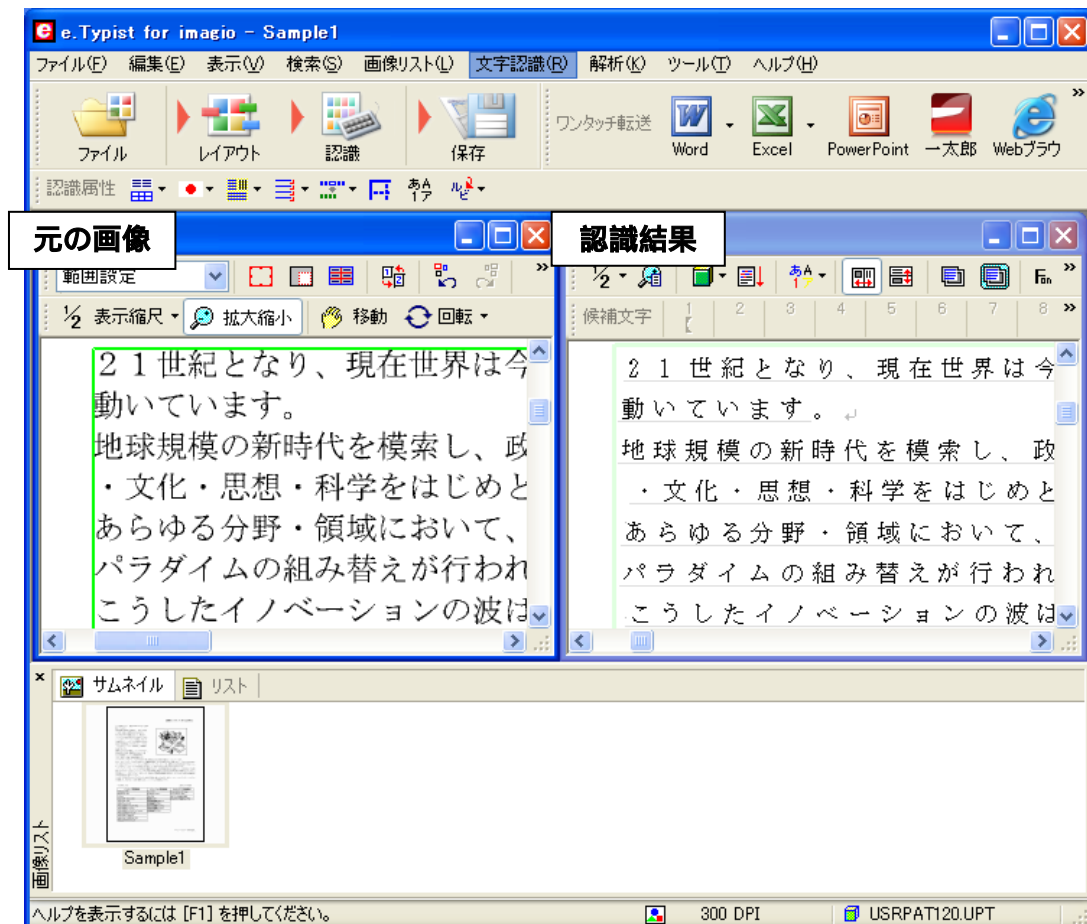
不要な認識枠を削除する場合は、削除したい枠をクリックして、キーボードの「Delete」キーを押します。すべての認識枠を削除する場合は、 「レイアウト取消」ボタンをクリックします。

## 7. 認識

「認識」ボタンをクリックすると認識作業が行われます。



認識が終わると、取り込んだ原稿と認識結果の二つに画面が分割されます。



読み込んだ画像に背景が含まれる場合、背景も合わせて表示されます。

背景表示の有無は「表示」メニュー 「テキストの背景に画像を表示」で切り替えることができます。



認識した文字だけを確認したい場合には、テキストウィンドウの表示が変更されます。


「表示」メニューから「テキストレイアウト表示」を選択すると「簡易表示」モードに変更され、認識した文字が左詰めで表示されます。

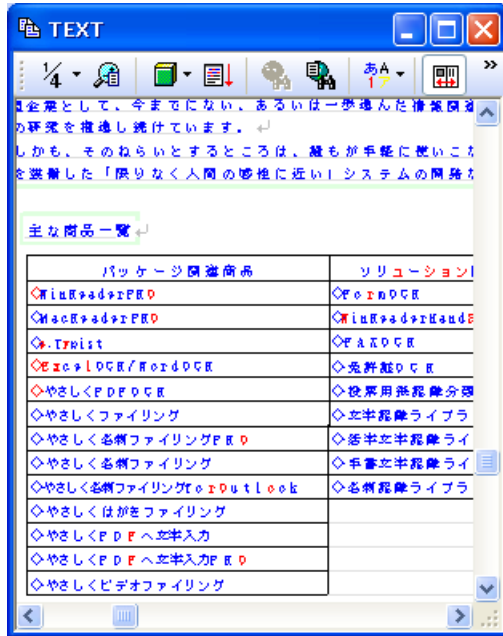
元の表示に戻す場合は、再度、同じメニューを選択してください。

【認識サンプルA(Word出力用)】  
21世紀となり、現在世界は今大きく揺れ  
動いています。  
地球規模の新時代を模索し、政治・経済

## 8 . 認識結果の修正

### 8 - 1 . 全文解析

テキストウィンドウのツールバーで「全文解析」ボタンをクリックします。



文字が青と赤で表示されます。

文字の色にはそれぞれ次のような意味があります。

**青文字** - 正しいと判断された文字

**赤文字** - 誤り、または前後の文字に誤りの可能性

前後の文字列を含めて解析を行うため、赤文字であっても正しい場合や青文字であっても誤っている場合があります。

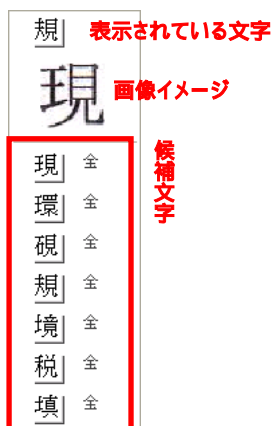
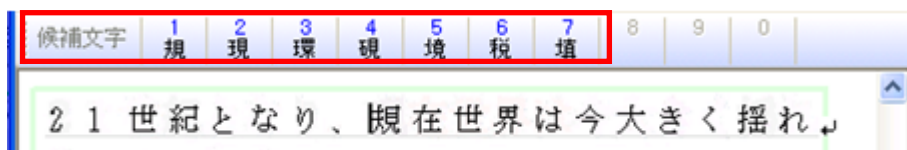
全文解析機能は、一つの目安としてお使いください。

### 8 - 2 . 候補文字で修正

文字を修正する方法に、候補文字で修正、キーボードから直接入力しての修正と2通りの方法があります。

下図の場合、「現在」の「現」を「規」と間違えています。

間違えている文字をクリックすると、ツールバーに「候補文字」が表示されます。



あるいは、間違えている文字を右クリックすると、候補文字リストが表示されます。

どちらの場合も、リストで正しい文字をクリックするとテキストウィンドウの文字が置き換えられます。

候補文字に正しい文字が表示されていない場合はキーボードから直接正しい文字を入力してください。

余計な文字がある場合は、「Delete」キーで削除してください。

## 9 . ワンタッチ転送

認識結果を直接アプリケーションに転送することができます。ワンタッチ転送ツールバーの転送先アプリケーションのボタンをクリックしてください。



パソコンにインストールされているアプリケーションのボタンのみ、表示されます。

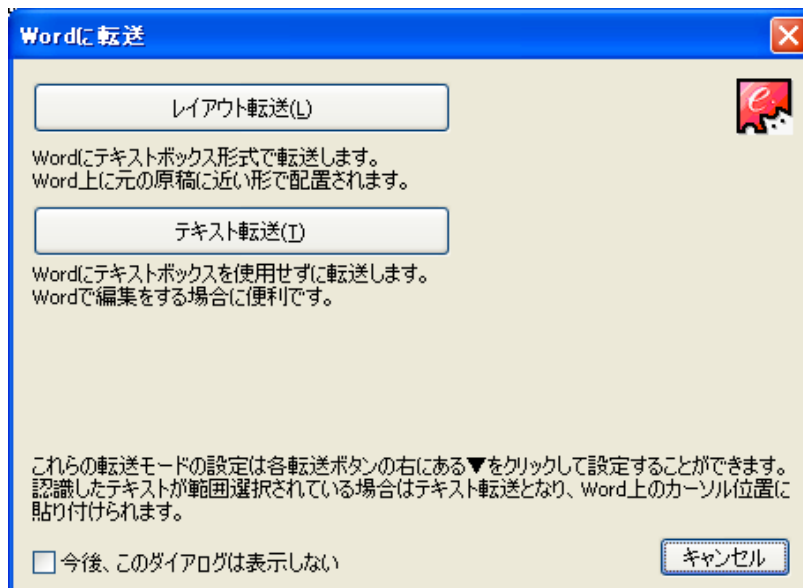
下記は「Word」に転送する例です。

「Word」ボタンをクリックします。



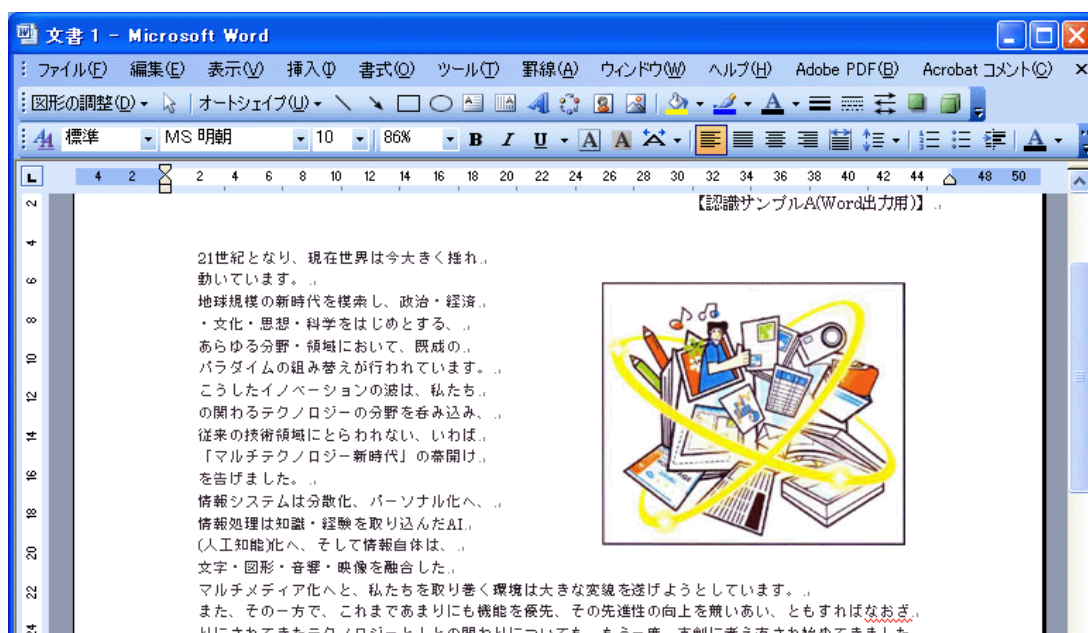
「Word に転送」ダイアログが表示されます。

元原稿のレイアウトをできるだけ再現した状態で転送する場合には「レイアウト転送」ボタン、認識結果の文字のみ転送する場合には「テキスト転送」ボタンをクリックします。



Microsoft Word が起動し、認識結果が転送されます。

下記は「レイアウト転送」ボタンをクリックして転送した例です。



レイアウトはある程度再現されますが、元の原稿と全く同じにはなりません。また、レイアウト、文字のサイズは転送後にそれぞれ修正を行ってください。